

令和5年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和5年10月24日（水）

10：00～11：28

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階第2・3会議室

出席：高木浩二会長、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、水野貫二委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、浅井朋子委員、吉川幹委員、吉井よしみ委員、森内佐和子委員、高橋加代子委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、松岡由佳子代理委員（村田志野委員の代理）、水野千鶴子委員、船渡歎子代理委員（中村みさ子委員の代理）、大中博委員（順不同）

欠席：浅野みな子副会長、林正勝委員、田中信次委員

事務局：加藤福祉部長、前田高齢福祉課長、内山高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、田立第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

事務局

本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

開会に先立ちまして事務局からご連絡いたします。

なお、浅野委員、林正勝委員、田中信次委員は都合により本日の会議を欠席、浅井朋子委員は遅れられる旨の報告を受けています。

また、村田志野委員の代理で松岡由佳子さんに、中村みさ子委員の代理で船渡歎子さんにご出席いただいておりますので、ご報告いたします。

それでは、福祉部長の加藤からご挨拶申し上げます。

福祉部長

～あいさつ～

事務局

福祉部長は公務のため退席いたしますので、ご了承願います。

次に、配付資料の確認をいたします。

座席表、次第、委員名簿、資料1-1、資料1-2、資料2、資料3、前回のグループ討議のまとめを各委員のお手元に、また、グループごとに「グループ討議 概要報告用紙」を机上に配付させていただいておりますのでご確認ください。

（足りない資料等あれば対応）

なお、本日の会議は11時30分を目処に終了したいと考えておりますので、ご了承ください。

事務局からの連絡は以上となります。

会長

それでは、ただいまから令和5年度第2回生活支援体制整備推進会議を開会します。

本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます

ます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。

初めに、次第1「第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について」それぞれコーディネーターから説明願います。

コーディネーター

～第1層・第2層コーディネーター 資料説明～

会長

第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

～意見なし～

会長

次第2に入ります前にどうしても委員の皆さんに伝えたい、質問したいということがあれば、挙手願います。

～意見なし～

会長

次に、次第2「地域課題に関する意見交換」を行います。
事務局から説明願います。

事務局

今期の生活支援体制整備推進会議は、ボランティア活動等の「担い手の発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をメインのテーマとし、議論を進めていただいています。

今回と、1月末頃に開催する今期最終の会議において、メインテーマである「参加に導くためのきっかけづくり」や「担い手の発掘」を実現できるような具体的な案を取りまとめ、地域における継続的な支援団体づくりの参考となるような資料を作成できたらと考えています。

そこで、お手元に用意しました、今までグループにて討議いただいた内容を取りまとめた「資料3 生活支援体制整備推進会議のグループ検討まとめ」を参考に、「参加に導くためのきっかけづくり」「担い手の発掘」に関する具体案について、意見交換をしていただきたいと思います。

次に、グループ討議について提案がございます。

今回は、委員ではございませんが、第2層のコーディネーターに進行役として入っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

会長

委員の皆さんいかがでしょうか。

事務局

それでは、各グループの進行役については、1グループは森内第1層コー

ディネーター、2グループは藤井第2層コーディネーター、3グループは高木会長、4グループは田立第2層コーディネーターでお願いします。

発表者は、各グループで決定してください。

書記は、包括支援センターから選出の委員さんでお願いします。

書記の方は、発表される方が発表しやすいように、グループごとにお配りしました「グループ討議 概要報告用紙」をご記入ください。

概要報告用紙は、発表後に事務局へご提出していただき、会議録確認時や次回の会議時に印刷して皆さんに配付します。

司会者と発表者を決定いただいた後、前半25分で、①「参加に導くためのきっかけづくり」について、後半25分で②「潜在的な担い手を発掘」について討議していただきたいと思います。

討議の後、11時10分くらいから1グループ3分をめぐりに討議内容を発表していただきます。ご質問があればお伺いします。

～質問なし～

会長

それでは、私もグループ席へ移動させていただき、グループ討議の進行については事務局をお願いします。

事務局

まず、発表者を決定していただき、討議を進めてください。

高齢福祉課長や事務局がグループを移動し、討議を聞かせていただきますので、ご了承願います。

～グループ討議～

事務局

それでは、時間となりましたので、会長は席へお戻りください。

会長

それでは、1グループ3分ほどで発表していただきます。質問は全グループ発表後にお受けします。2グループから発表願います。

委員

2グループです。参加に導くためのきっかけづくりについては、参加しない方との話し合いの場をつくるのが大事だという意見と、子どもが集まる場を作ると親と一緒に動くため、参加してもらえろという話がありました。共栄地区でのフリーマーケットの際には、中学生ボランティアが参加してくれてきっかけになったことや、そのような中学生がボランティア活動をする場所を探しているという話も出ました。

潜在的な担い手の発掘に関しては、集まる場がないときっかけもつけないことから、地域での行事やイベントはできるだけ中止しないほうがよいという意見がありました。

また、イベント等を開催するための情報は提供していますが、結果報告

も公表して、こんな楽しいことがあるとか、こんな貢献をしているということを書真等で分かりやすく告知して、知ってもらうことも大切という意見がありました。

会長

4グループお願いします。

委員

地域の人が魅力を感じる取組みについては、子どもを中心としたイベントを開催するとよいという意見が出ました。子どもが出てくると親が必ず付いてくるため、その際に興味を持ってもらい活動への参加に繋げたいというものです。

イベントについて広報紙で周知しているものの、なかなか魅力発信ができていないため、例えばキッチンカーなどのメインの呼び物をつくとよいという意見がありました。

また、活動を理解してもらうための取組みとして、積極的に区との連携を図っていくとよいと思います。また、情報発信として広報紙も大切ですが、SNSの活用についての提案がありました。

ボランティア活動については、何をやるにも楽しんでやらないと続かないことから、いろいろなことを情報発信しながら参加してもよいという人に参画していただいてボランティア活動に積極的に取り組んでいただくことが必要ではないかという意見がありました。

会長

3グループお願いします。

委員

参加に導くためのきっかけづくりについて、参加していただくためには、地域の方との何らかの接点がないと難しいという話があり、例として学校の資源回収の話が出ました。資源回収の新聞紙は重いですから、新聞紙を縛る活動や、段ボールなどを出すための手伝いをしているという話も出ました。

広報紙は、なかなか見てもらえないことから、カラーにしたという話やデザイン的に目を引くものをつくった方がよいという意見がありました。が、どれだけよいものを作っても誰も見てくれないという意見もあり、なかなか難しい問題だと感じました。

女性に比べ男性の参加者が少ないことから「おやじの料理教室」的なものを開催したところ、参加者が多くなり過ぎて断ったという話も出ました。

活動の中身を工夫していかないと、来てもらうためのきっかけにならないという話もありました。

潜在的な担い手では、地域のお祭り、運動会、盆踊り大会などが最近ではお金も人もかかるためやめる地域が多くなってきましたが、行事に参加して興味を持つと、次の年も開催することになり、順番に地域の団結力が増していくのではないかという意見が出ました。

また、活動内容を地域住民に知ってもらわないと活動も広がっていかないという意見や地域のイベント等を活用した人材の育成が大切だという意見が出ました。

会長

1 グループお願いします。

委員

参加に導くためのきっかけづくり、潜在的な担い手の発掘について、まとめて報告します。

昭和地域では、民生委員さんを中心に初めてお楽しみ昼食会を開催され、お客さん 60 名に非常に喜んでいただいたという話が出ました。地区によっては老人会のリーダーがいなくなって、老人会そのものがなくなったという話があり、場合によってはグループリーダーを作らず 3、4 人で進めていく方法もあるのではという意見も出ました。

集まる機会を増やすことが 1 番大事という話も出ました。ホワイトタウンでは、月 1 回「ポケット」と称するサロンを開催しています。100 円をポケットに入れて集会場へ来ていただき、コーヒーを飲みながらお菓子を食べて、約 2 時間言いたいことを言って楽しんでいただいています。その中にハーモニカの達人がいて、ハーモニカ目当てにお客さんが非常に増えました。今まではホワイトタウンの 2 か所の集場でやっていましたが、このたび 3 か所目ができ、来年 3 月までにもう 1 か所増やしたいと思っています。

認知症の最大の防御策は、人としゃべることです。独居の高齢者や高齢夫婦だけの場合、朝から晩まで家でテレビと新聞を見ているだけで、しゃべっている時間は少ないと思います。外に出る場所をつくるのが私たちの役割で、出掛けるきっかけを一生懸命つくっていきたいと思っています。

ある地区における夏祭りでは、子どもたちに餅つきをやってもらうというエリアもありました。

ホワイトタウンで 3 回目のフリーマーケットを実施したら、ホワイトタウンにこんなに多くの子どもがいるのかというくらい、多くの小学校低学年の子たちが集まりました。100 円か 200 円または売れなかったら「ただでもどうぞ」という家で要らないものを多数出していただいで行事を実施しています。

会長

皆さん方から御意見いただきました。もう少し聞いてみたいことがございましたら、挙手願います。

～意見なし～

会長

お疲れさまです。本日の議題は以上となります。

本日の議論を踏まえて次回もグループ討議を行います。

最後に、次回の会議開催ですが、来年1月22日を予定しております。
開催の1月ほど前にご案内させていただきますのでご了承ください。

これもちまして令和5年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議
を終了いたします。